

## メタ・アナリシス文献の主題傾向分析

野添篤毅<sup>1)</sup> 榊原真奈美<sup>2)</sup>

1)愛知淑徳大学文学研究科 2)愛知淑徳大学大学院博士前期課程

目的：Evidence-based medicine (EBM)の発展とともに、近年、研究手法として盛んになってきたメタ・アナリシス文献で扱われている研究主題をその年代推移、主題傾向などをMEDLINE データベースを用いて調査、分析した。

方法：MEDLINE データベースに蓄積されている文献中で、扱われている研究手法を示すタグ（出版タイプ publication type 1993年に設定）”meta-analysis”が付与されている書誌データを同データベースから検索した。検索された8,679件の書誌データについて、文献の発表年代、発表雑誌、研究対象となっている主題などについて分析した。主題分析については、検索された各書誌データに付与されたシソーラス用語 Medical Subject Headings (MeSH)のうち、主な研究主題を表す索引語 major term に注目し、それらのMeSH シソーラスでのカテゴリーによって分類、分析した。

結果：メタ・アナリシスを示す出版タグの付与された文献は、1990年から2003年までで総計8,679件であった。年代的な文献量の推移は、93年、323件、98年、639件、2003年、1,258件であって、近年急速な増加の傾向が見られる。

これらの文献が研究対象としている研究トピックス（93年、98年、03年）は、疾病についてが、全体平均で28.5%、各年代では30.9、28.7、27.9%と減少傾向にある。つぎに多いカテゴリーは医薬品で17.9%、ついで、診断・治療の技術で、14.2%であった。疾病カテゴリー（2003年）について詳しくみると、最も多いサブカテゴリーは心臓血管系疾患で同カテゴリー中12.6%、ついで神経系疾患、10.3%、腫瘍、9.8%であった。それぞれのサブカテゴリーの年代推移では、腫瘍を対象とする文献が減少傾向にあるのに対して、心臓血管系疾患および神経系疾患については増加している。

メタ・アナリシス文献を掲載している雑誌（2003年）についてみると、疾患についての主要な研究トピックスとして明らかになった心臓血管系、神経系疾患、腫瘍に関する専門雑誌、Stroke 誌、16件、Am. J. Cardiol.、15件、J. Clin. Oncol.、9件、Am. Heart J.、8件と集中している。一方、総合医学雑誌へ掲載されるメタ・アナリシス文献も多く、BMJ、23件、An. Intern. Med.、13件、Lancet、12件、JAMA、10件となっている。

考察：メタ・アナリシス文献は近年増加傾向にあり、またその研究対象も心臓血管系疾患、神経系疾患、腫瘍に集中している。そしてそれらの文献の掲載雑誌もこれらの主題範囲の専門誌に集中してはいるが、総合医学雑誌にも多くのメタ・アナリシス文献が見いだされる。本研究によって、メタ・アナリシス文献の文献量、その年代的推移、扱われている研究主題の傾向などが明らかになった。

（本研究は平成16年度厚生労働科学研究費（主任研究者丹後俊郎）による。）